

【9月6日】当協会関連リサイタル、コンサートのご案内

(2012/09/06 木曜日 20:50:58 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 (2012/10/11 木曜日 21:19:10 JST)

? 芸術の秋、開幕です。お馴染みの久元祐子さんピアノリサイタル、宮部小牧さん歌曲の夕べ、NHK東京児童合唱団創立60周年記念第41回定期演奏会、星状六花コンサートのご案内です。是非お聴きください。(Lstviija編集室)? ? 9月11日(火)久元 祐子 ピアノリサイタルベゼンドルフアーいま昔 現存する世界最古のベゼンドルフアーの響き-F.シューベルト:即興曲 op.142???? W.A. モーツァルト:ピアノ・ソナタ 変ロ長調KV333A. シェーンベルク:6つの小さなピアノ曲 作品19L.V. ベートーベン:ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調 作品110 ?????????? ? 東京文化会館小ホール 19:00 開演 (18:30開場) 全席自由 一般4,500円 学生2,500円 東京文化会館チケットサービスほか????????????? 主催 プロ アルテ ムジク 電話03-3943-6677 # 久元さんとラトビア:1991年、ラトビア独立の前夜、リーガでラトビア国立交響楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。絶賛を博す。その後ワグナーホール、ブラックヘッツなどの名ホールでリサイタル開催した。2010年 ラトビア大使館・当協会共催の第一回ラトビア音楽祭出演。当協会理事。? ? 9月13日(木) ゲーテ 西東詩集による歌曲の夕べ? スイス人作曲家 オトマール・シエへの誘い Vol.2宮部小牧ソプラノ 森内俊哉バリトン 竹尾真紀子ピアノ シューベルト:ズライカ ひめぐと シューマン:護符 ズライカの歌ヴォルフ:ユーフラテス川で舟を浮かべ その夢の意味は シェック:西東詩集による歌曲 作品19b?? ??他 日暮里サニーホ-ル コンサートサロン 19:00開演(18:30開場) 全席自由 前売り2500円 当日3000円 080-4630-1715 (9時-12時)?? E-mail: liederseelen@gmail.com (リーダー・ゼーレン) 後援 スイス大使館 # 宮部さんとラトビア:2010年大使館・当協会共催のサロン・コンサートで「 08年歌の祭典」のヒット曲「三つの星」を初演、第一回ラトビア音楽祭で同国を代表する女性作曲家ガルタの歌曲5曲を披露した。? 9月22日(土・祝日) NHK東京児童合唱団60周年記念 第41回定期演奏会? 「N児が演奏してきた楽曲から その原点を見つめるステージ」東京文化会館大ホール 17:00開演(16:15開場) 全席指定 S席4500円 A席4000円 B席3000円 C席2500円Ex席1500円 学生席1000円 チケットぴあ0570-02-9999[pコード173-553]主催 NHK東京児童合唱団 後援 日本現代音楽協会 日本作曲家協議会問合せ NHK東京児童合唱団 03-5455-3143 (14:00 20:00)# N児とラトビア:2006年 N児第35回定期演奏会でラトビアの代表的な女性指揮者アイラ・ビルジーニャが「ラトビア合唱曲」を客演指揮。 08年8月N児 欧州演奏旅行の際、リガ祭はじめリガ市議会文化局主催のコンサート出演などリガ大聖堂少女合唱団との交流を深めている。アイラさんは2013年「ラトビア歌の祭典」の芸術総監督。? 10月13日(土)14日(日) 星状六花コンサート後援 ラトビア共和国大使館 日本ラトビア音楽協会(8月12日付当協会HP トピックスより抜粋) 「星状六花」は雪の結晶の名前です。雪を詠んだ日本の短歌が、ラトビア人の雪の夕べストーリーと出会い、ラトビア語と英語の「tanka」に翻訳され、またそこから篠笛の曲が生まれました。このコンサートは篠笛演奏「星状六花」、パフォーマンス「星状六花」、歌集「星状六花」の3ヶ国語(日本語・英語・ラトビア語)朗読など、雪にちなんだ音楽、演劇、朗読の極めて興味深いコラボレーションです。 日時・会場 ? ? 2012年10月13日(土)17時開演 加賀市:中谷宇吉郎雪の科学館 入場料500円 申し込みは往復はがきで下記へ。先着40名(締切10月4日必着)? 宛先:922-0411加賀市潮津町106番地 中谷宇吉郎雪の科学館 電話0761-75-332310月14日(日)19時30分開演 福井市:養浩館庭園(旧御泉水屋敷) 入場料無料(但し入園料210円必要)申し込みは往復はがきで下記へ。先着40名(締切10月4日必着)宛先:910-0011福井市経田2-907-1 星状六花コンサート開催委員会 電話090-3885-8169(午後8時以降)# 歌人 紺野さんとラトビア:2008年の春、「中谷宇吉郎 雪の科学館」でラトビアの織物作家パイバ・リテーレさんの作品、ゴブラン織りの夕べストーリー「CONNECTION」に出会った時がはじまり。「Connection」が「星状六花」の表紙カバーとなり、詩集はラトビア語に翻訳され現地紙に掲載された。同じ日、偶然にも日本では「星状六花」の「現代歌人集会賞」授与式。交流は深まり 10年にはラトビア作家組合の招待で「詩のフェスティバル・ラトビア・2010」に参加。日本とラトビア、詩歌の架け橋。